



羽津っ子だより



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~hazu/cms2/htdocs/>

学校集会 1/16

16日(水)に学校集会を行いました。5年生と保健委員会の発表でした。

5年生は10月の自然教室の様子を楽しく発表してくれました。分かりやすくユーモアたっぷりでした。

保健委員会は「歯の健康」について発表してくれました。クイズを入れながら歯磨きの大切さも伝わってきました。

マイクを使わなくてもはっきりとした声で堂々と発表する羽津っ子が頼もしいです。



予告なし避難訓練 1/24



24日(木)の休み時間10:35に訓練用緊急地震速報が流れました。運動場で遊んでいた子、教室・廊下にいる子、図書室にいた子など、様々な状況の中、自分で自分の命を守るための行動の訓練としました。

ものが落ちてこないところ、倒れてこないところなどへの避難行動ができたかどうか、教室で振り返りました。地震は、下校途中・家で一人にいる時など、いつ・どこで起こるか分かりません。ご家庭におきましても折に触れて防災について話題にさせていただきますようお願いいたします。

学校保健委員会 5年生 1/24



5年生が「歯の健康について考えよう」と題して、学校歯科医の先生・歯科衛生士の先生をお迎えして、正しいブラッシングを体験しながら歯の正しい磨き方を学びました。

本日は、給食後に歯磨きをしたのにもかかわらず、染め出し液を付けてチェックすると磨けて

いなかったことに子どもたちは驚いた様子でした。歯科衛生士の先生から、一つの歯に対して

「ほっぺ側・上面・内側」をそれぞれ10回程度歯ブラシを小刻みに動かして磨くとよいことを教わりました。早速実践してほしいと思います。



👁️ イソップ寓話「北風と太陽」の教訓

寒い冬が続いています。冷たい北風を感じ、イソップの「北風と太陽」の話の思い出しました。その教訓とは・・・！？



あらすじを紹介すると・・・

ある日のこと、北風と太陽が力自慢をしていました。北風は、どんなものでも簡単に吹き飛ばすことができ、世界一強い、と言いました。それを聞いた太陽は、どちらが世界一強いのか力くらべをしようと言いました。2人は、目の前を歩いている旅人の着ている服を脱がせた方が勝ちという勝負をすることにしました。北風は旅人の服を吹き飛ばそうと思い、力いっぱい風を吹きかけました。しかし旅人の服は脱げませんでした。それどころか、旅人は風に飛ばされないように服をしっかり押しさえ、さらに寒がってコートを着てしまったのです。今度は太陽の番です。太陽は力いっぱい輝き始め、陽を照らしました。すると先ほどまで寒かったその場所は、みるみるうちに暑くなってきたのです。あまりの暑さに、旅人は着ていた服を脱いでしまいました。それを見た北風は、何でも力だけで解決しようとしていたことを反省し、力自慢をすることはなくなりました。



↳ (教訓) 手っ取り早く乱暴に物事を片付けてしまおうとするよりも、ゆっくり着実に行う方が、最終的に大きな効果を得ることができる。

しかし、この物語には、また別の話があり、それは、北風と太陽がした最初の勝負は、旅人の帽子をとることだったということです。

最初、太陽は燦々と旅人を照り付けると、旅人はあまりにも強い日差しで帽子をしっかりかぶり、決して脱ぎませんでした。そして、次に北風が力いっぱい吹くと、見事一瞬にして簡単に帽子は吹き飛んでしまいました。その次に行った勝負は、旅人の上着を脱がす勝負となり、この勝負の結果は周知の通りです。

↳ (教訓) 「何事にも適切な手段が必要である」ということです。一方であまくいったからといって、他方でもうまくいくとは限らないし、その逆も然りです。

* 学校運営においても学校評価を勘案し、状況に応じて腰を据えてじっくり取り組むこと、絶えず新たな改善策や適切な手段はないかを検討しながら進めていきたいと考えています。